

## II-1 訪日外国人の旅行動向

### ■ 2018年の訪日旅行の概況

訪日外客数の伸びが鈍化傾向に  
旅行消費額は4兆5,189億円と過去最高

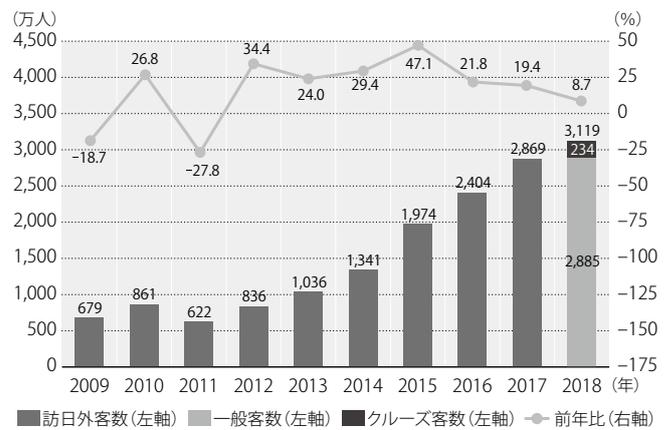
#### (1) 訪日外客数の動向

日本政府観光局（JNTO）によると、2018年の訪日外客数は3,119万人と過去最高を記録した。しかし前年からの伸び率は8.7%と、東日本大震災発生の翌年（2012年）以降続いていた2桁台の成長が、ストップする結果となった。6月から9月にかけて頻発した自然災害（大阪府北部地震、西日本豪雨、台風21号、北海道胆振東部地震）も影響しているとみられる（図II-1-1）。

2018年において訪日外客数が増加した主因は、前年に引き続き近隣アジアからの訪日外客数の増加である。特に前年比21.8%の伸びを見せた中国の寄与度が大きい。東南アジアや欧米豪市場も堅調な伸びを見せた。一方、韓国や台湾の伸び率は1桁台と、前年に比べ鈍化傾向にある。更に香港やクルーズ客市場は前年比マイナスとなっており、市場によって傾向に違いが見え始めている。

訪日外国人旅行消費額は4.5兆円と過去最高を記録した。東アジアの存在感が大きく、韓国、台湾、香港、中国の4カ国・地域で全体の約2/3を占めている。観光庁「訪日外国人消費動向調査」では、2018年より一般客（クルーズ客以外の訪日外国人）とクルーズ客の旅行消費額を分けて公表している。それによると、2018年のクルーズ客の旅行消費額は約1千億円であり、訪日外国人全体の2%程度であった（表II-1-1）。

図II-1-1 訪日外客数の推移



資料：日本政府観光客（JNTO）「訪日外客数」

表II-1-1 2018年における訪日外客数と訪日外国人旅行消費額

2018年	訪日外客数 (人)			1人当たり旅行支出 (円/人)	訪日外国人旅行消費額 (億円)				
	シェア (%)	前年比 (%)	寄与度 (%)		前年比 (%)	一般客数 (左軸)	クルーズ客数 (左軸)	シェア (%)	前年比 (%)
全体	31,191,856	100.0	8.7	8.7	-	-	45,189	100.0	2.3
全国籍・地域	28,854,053	92.5	10.0	9.1	153,029	▲0.6	44,155	97.7	-
韓国	7,525,853	24.1	5.6	1.4	78,084	8.8	5,876	13.0	-
台湾	4,487,436	14.4	4.4	0.7	127,579	1.4	5,725	12.7	-
香港	2,165,311	6.9	▲0.8	▲0.1	154,581	1.0	3,347	7.4	-
中国	6,476,719	20.8	21.8	4.0	224,870	▲2.4	14,564	32.2	-
タイ	1,129,456	3.6	14.7	0.5	124,421	▲1.7	1,405	3.1	-
シンガポール	435,029	1.4	8.7	0.1	172,821	5.2	752	1.7	-
マレーシア	463,367	1.5	7.3	0.1	137,612	1.4	638	1.4	-
インドネシア	393,754	1.3	13.0	0.2	141,419	9.3	557	1.2	-
フィリピン	473,079	1.5	13.0	0.2	121,921	7.3	577	1.3	-
ベトナム	387,199	1.2	25.9	0.3	188,376	2.8	729	1.6	-
インド	152,495	0.5	15.1	0.1	161,423	2.5	246	0.5	-
英国	324,679	1.0	7.2	0.1	220,929	2.6	717	1.6	-
ドイツ	212,906	0.7	11.9	0.1	191,736	5.2	408	0.9	-
フランス	303,952	1.0	13.4	0.1	215,786	1.6	656	1.5	-
イタリア	149,273	0.5	19.3	0.1	223,555	16.8	334	0.7	-
スペイン	118,378	0.4	18.9	0.1	237,234	11.6	281	0.6	-
ロシア	93,599	0.3	22.0	0.1	188,256	▲5.5	176	0.4	-
米国	1,507,362	4.8	10.9	0.5	191,539	5.2	2,887	6.4	-
カナダ	322,487	1.0	8.2	0.1	183,218	2.1	591	1.3	-
オーストラリア	541,870	1.7	11.3	0.2	242,041	7.2	1,312	2.9	-
その他	1,189,849	3.8	9.4	0.4	199,728	▲6.1	2,376	5.3	-
クルーズ客	2,337,803	7.5	▲4.6	▲0.4	44,227	-	1,034	2.3	-

■ 上位3ヶ国・地域（クルーズ客は除く）

資料：日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」  
（注）訪日外客数は暫定値を使用している。

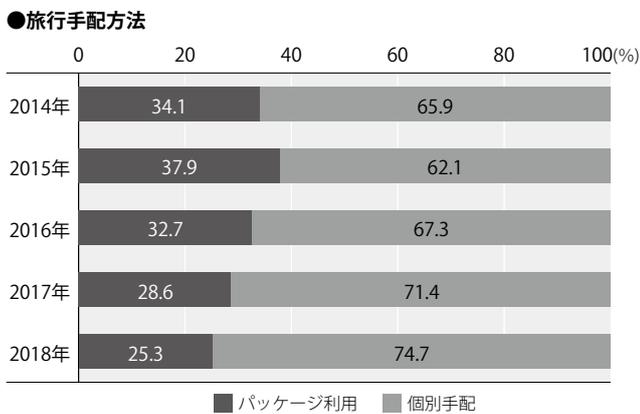
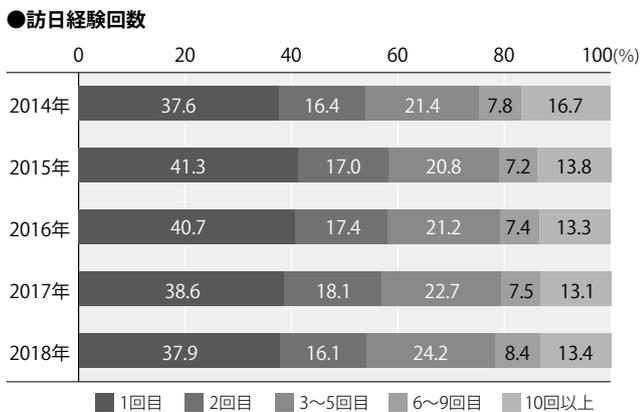
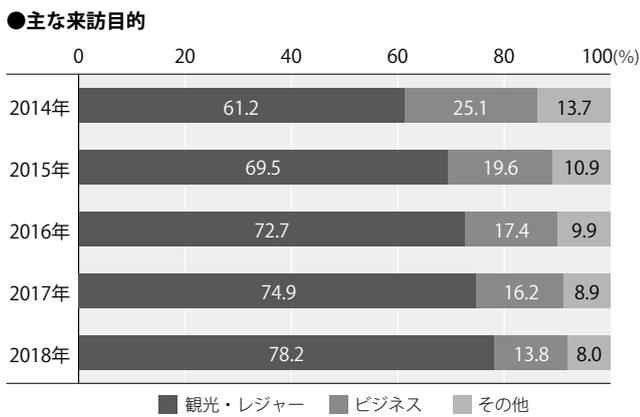
(2) 客層の変化

観光庁「訪日外国人消費動向調査」によると、近年は観光・レジャー目的客の割合が増加傾向にあり、2018年は同割合が78.2%となった。

訪日経験回数は、2015年までは1回目の割合が増加していたが、2016年以降は2回目～9回目のリピーターが増加傾向にある。一方、10回以上のハードリピーター層の割合は2015年以降ほぼ横ばいで推移している。

旅行手配方法は2015年までパッケージ利用率が増加傾向にあったが、2016年以降は個別手配率が増加し、2018年は74.7%となっている(図II-1-2)。

図II-1-2 訪日外国人の客層変化



(3) 旅行支出の動向

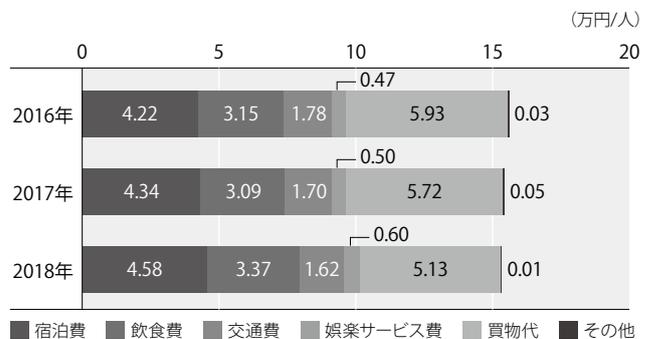
観光庁「訪日外国人消費動向調査」によると、一般客の1人当たり旅行支出は15.30万円と前年比マイナス0.6%となった。訪日中国人による爆買いが落ち着いた2016年以降、15万円台で大きな変化がなく推移している(図II-1-3)。

1人当たり旅行支出と買物代を費目別にみると、2017年から2018年にかけて宿泊費、飲食費、娯楽サービス費が増加している。一方、買物代は1人当たり約6千円の減少となっており、費目別にみると特に「電気製品・カメラ・時計」が前年比マイナス35%と減少幅が大きい(図II-1-4、図II-1-5)。

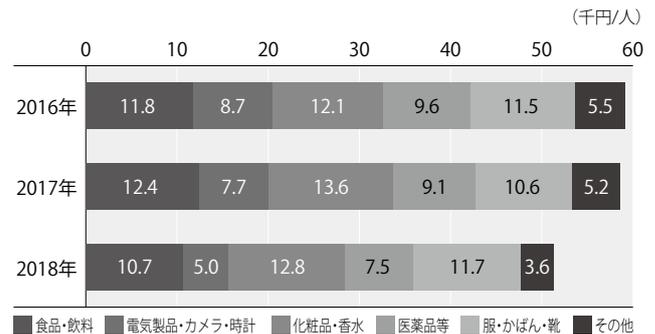
図II-1-3 訪日外国人旅行消費額の推移



図II-1-4 費目別にみる訪日外国人1人当たり旅行支出(一般客)



図II-1-5 費目別にみる訪日外国人1人当たり買物代(一般客)



#### (4) 日本人海外旅行との対比

2015年以降、外国人の訪日旅行（インバウンド旅行）が日本人の海外旅行（アウトバウンド旅行）を人数、国際収支ともに上回る状況が続いている。

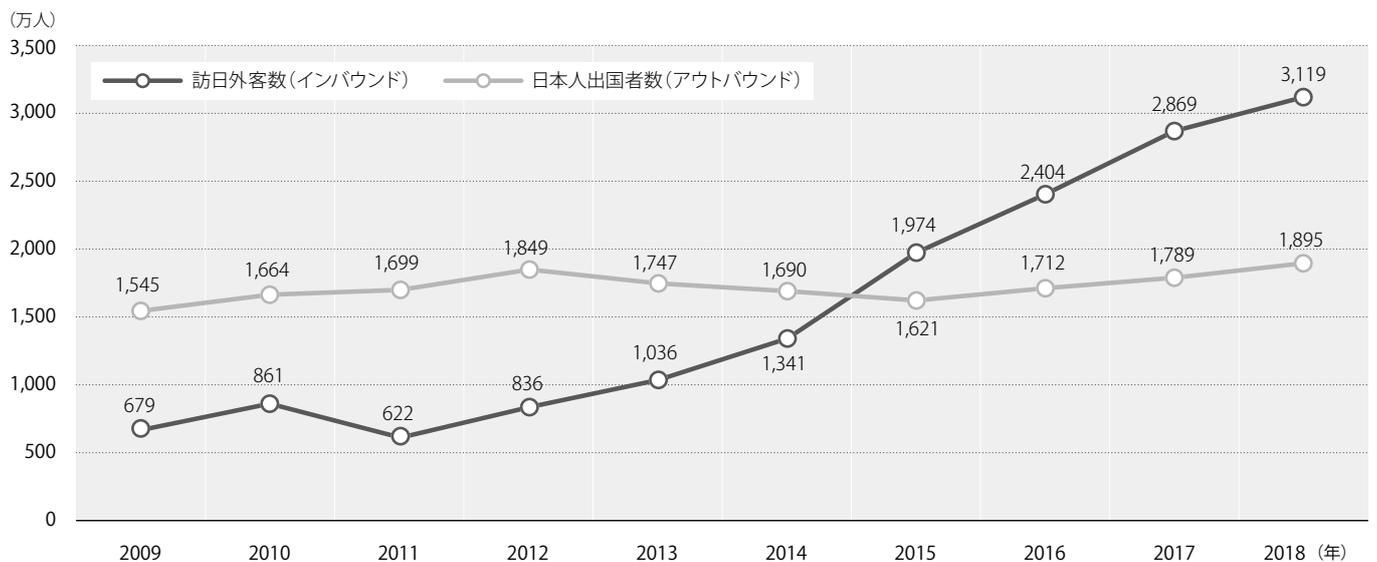
過去10年間の旅行者数の推移をみると、日本人の海外旅行者数に相当する「日本人出国者数」（法務省「出入国管理統計」）は1,500～2,000万人の間で推移しているが、2016年以降は微増傾向が続いている。訪日外国人旅行者数に相当する「訪日外客数」（日本政府観光局）は2011年を底に増加基調となり、2015年に日本人の海外旅行者数を上回る結果となっ

た。2018年は更に差を広げ、日本人出国者数より訪日外客数がおよそ1,200万人以上多い状況となっている（図II-1-6）。

人の動きだけでなく、経済取引の面でも同様の動きがみられる。財務省・日本銀行「国際収支統計」によると、10年前の2009年は旅行支払がおおよそ2.4兆円に対して旅行受取がおおよそ1.0兆円と2倍以上の開きがあったが、2014年には両者ともおおよそ2兆円で並んだ。2015年以降は旅行受取が旅行支払を上回り、2018年にはその開きが約2.1倍に拡大している（図II-1-7）。

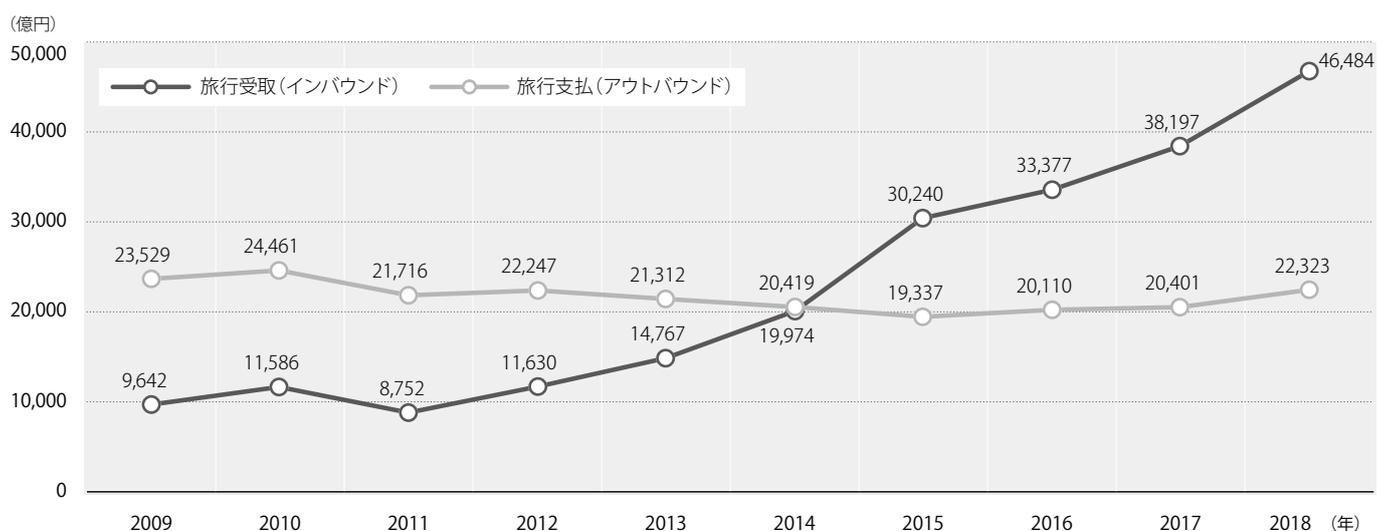
（川村 竜之介）

図II-1-6 訪日外客数及び日本人出国者数の推移



資料：法務省「出入国管理統計」、日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」

図II-1-7 国際収支における旅行受取及び支払の推移



資料：財務省・日本銀行「国際収支統計」

## 2 市場別にみる訪日旅行動向

2018年の訪日外客数は東アジアの伸び率が鈍化  
中国の買物消費は引き続き好調

### (1) 国籍・地域別にみる訪日旅行動向

訪日外客数を国籍・地域別にみると、2018年は多くの主要国・地域で前年を上回ったものの、東アジアでの伸び率鈍化が目立った。香港は前年比1.1%のマイナスへと転じた。

2019年上半期は香港に加え、韓国と台湾の伸び率もマイナスへと転じた。一方で中国は伸び率が2桁台の成長を維持

している。欧米豪市場も堅調な伸びを見せており、2018年から2桁台の成長が続いている国も多い(表II-1-2)。

2018年の1人当たり旅行支出(クルーズ客を除く)を国籍・地域別にみるとオーストラリア(24.2万円)や中国(22.5万円)が高い。欧米も全体的に高く、特に英国やフランス、イタリア、スペインでは20万円を超える。

オーストラリアは冬にスキーを楽しむ客層が多いことから、娯楽サービス費(スキー用品レンタル代など)が高くなっている。中国は買物代が高く、11.2万円と総額の約5割を占める。最も低いのは滞在期間の短い韓国(7.8万円)であり、いずれの費目(「その他」以外)もほかの国籍・地域に比べ低い(表II-1-3)。

表II-1-2 訪日外客数の推移(国籍・地域別)

(単位:万人)

(単位:%)

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019上期	2017/2016年比	2018/2017年比	19上期/18上期比	
訪日外客数全体	834.7	835.1	679.0	861.1	621.9	835.8	1036.4	1341.3	1973.7	2404.0	2869.1	3119.2	1663.4	19.3	8.7	4.6	
東アジア	韓国	①260.1	①238.2	①158.7	①244.0	①165.8	①204.3	①245.6	②275.5	②400.2	②509.0	②714.0	②753.9	②386.3	40.3	5.6	▲3.8
	台湾	②138.5	②139.0	②102.4	③126.8	③99.4	②146.6	②221.1	①283.0	③367.7	③416.8	③456.4	③475.7	③248.1	9.5	4.2	▲1.0
	香港	43.2	55.0	45.0	50.9	36.5	48.2	74.6	92.6	152.4	183.9	223.2	220.8	109.8	21.3	▲1.1	▲1.1
	中国	③94.2	③100.0	③100.6	②141.3	②104.3	③142.5	③131.4	③240.9	①499.4	①637.4	①735.6	①838.0	①453.3	15.4	13.9	11.7
東南アジア	タイ	16.7	19.2	17.8	21.5	14.5	26.1	45.4	65.8	79.7	90.2	98.7	113.2	68.4	9.5	14.7	12.7
	マレーシア	15.2	16.8	14.5	18.1	11.1	14.2	18.9	22.8	30.9	36.2	40.4	43.7	21.4	11.7	8.2	7.3
	シンガポール	10.1	10.6	9.0	11.5	8.2	13.0	17.7	25.0	30.5	39.4	44.0	46.8	23.8	11.5	6.6	0.7
	フィリピン	6.4	6.7	6.4	8.1	6.2	10.1	13.7	15.9	20.5	27.1	35.2	39.7	21.6	30.0	12.6	0.8
	インドネシア	9.0	8.2	7.1	7.7	6.3	8.5	10.8	18.4	26.8	34.8	42.4	50.4	29.5	21.9	18.8	7.1
	ベトナム	3.2	3.5	3.4	4.2	4.1	5.5	8.4	12.4	18.5	23.4	30.9	38.9	25.3	32.1	25.9	30.3
欧米・その他	インド	6.8	6.7	5.9	6.7	5.9	6.9	7.5	8.8	10.3	12.3	13.4	15.4	9.3	9.3	14.6	15.5
	英国	22.2	20.7	18.1	18.4	14.0	17.4	19.2	22.0	25.8	29.2	31.0	33.4	18.6	6.2	7.6	9.7
	フランス	13.8	14.8	14.1	15.1	9.5	13.0	15.5	17.9	21.4	25.3	26.9	30.5	16.0	6.0	13.5	7.4
	ドイツ	12.5	12.6	11.1	12.4	8.1	10.9	12.2	14.0	16.3	18.3	19.6	21.5	11.9	6.7	10.1	11.7
	イタリア	5.4	5.6	6.0	6.2	3.4	5.2	6.7	8.1	10.3	11.9	12.6	15.0	7.5	5.5	19.2	12.4
	スペイン	3.3	4.1	4.2	4.4	2.1	3.5	4.4	6.1	7.7	9.2	10.0	11.9	5.2	8.7	19.1	10.4
	ロシア	6.4	6.6	4.7	5.1	3.4	5.0	6.1	6.4	5.4	5.5	7.7	9.5	5.6	40.9	22.7	20.4
	米国	81.6	76.8	70.0	72.7	56.6	71.7	79.9	89.2	103.3	124.3	137.5	152.6	87.5	10.6	11.0	13.1
	カナダ	16.6	16.8	15.3	15.3	10.1	13.5	15.3	18.3	23.1	27.3	30.6	33.1	18.4	11.9	8.2	10.8
	オーストラリア	22.3	24.2	21.2	22.6	16.3	20.6	24.5	30.3	37.6	44.5	49.5	55.2	32.7	11.2	11.6	10.7
その他	47.2	48.9	43.6	48.1	36.1	49.0	57.5	68.2	85.7	98.0	109.5	119.9	63.4	11.8	9.4	8.7	
うちクルーズ客(再掲)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	193.6	244.9	233.8	88.9	26.5	▲4.6	▲22.3

(注1) ①②③は各年で旅行者数が多い国籍・地域の順位を示す。

(注2) 訪日外客数は2017年までは確定値、2018年から2019年4月までは暫定値、2019年5-6月は推計値を使用している。

資料: 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」

表II-1-3 費目別にみる訪日外国人1人当たり旅行支出と旅行消費額(一般客(クルーズ客以外の訪日外国人)、国籍・地域別、2018年)

(単位:円/人)

(単位:億円)

国籍・地域	旅行支出総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽サービス費	買物代	その他	旅行消費額	
全国籍・地域	153,029	45,787	33,748	16,160	6,011	51,256	67	44,155	
東アジア	韓国	78,084	24,974	19,961	7,636	3,917	21,549	47	5,876
	台湾	127,579	35,312	28,190	13,548	5,059	45,441	30	5,725
	香港	154,581	45,625	36,887	16,683	5,063	50,287	36	3,347
	中国	224,870	47,854	39,984	16,834	7,998	112,104	95	14,564
東南アジア	タイ	124,421	36,836	27,740	15,033	4,416	40,248	149	1,405
	シンガポール	172,821	63,311	41,406	19,890	6,467	41,691	54	752
	マレーシア	137,612	44,950	30,400	16,371	6,466	39,422	3	638
	インドネシア	141,419	48,117	29,156	20,946	5,585	37,599	17	557
	フィリピン	121,921	31,448	30,074	14,459	6,077	39,596	268	577
	ベトナム	188,376	55,818	43,846	18,900	5,923	63,649	240	729
欧米・その他	インド	161,423	75,371	34,026	21,864	3,747	26,415	0	246
	英国	220,929	100,692	56,050	33,172	8,341	22,641	34	717
	ドイツ	191,736	84,555	47,536	28,333	5,974	25,250	87	408
	フランス	215,786	85,544	56,933	33,438	7,358	32,472	41	656
	イタリア	223,555	87,652	57,803	39,204	7,552	31,057	287	334
	スペイン	237,234	92,543	62,129	42,159	7,620	32,783	0	281
	ロシア	188,256	62,710	43,837	22,038	7,973	51,554	143	176
	米国	191,539	82,286	50,630	27,318	7,865	23,406	34	2,887
	カナダ	183,218	74,857	47,469	27,579	7,993	25,176	144	591
	オーストラリア	242,041	99,175	58,878	34,892	16,171	32,688	236	1,312
その他	199,728	84,529	48,463	29,455	6,354	30,912	14	2,376	

資料: 観光庁「訪日外国人消費動向調査」

①韓国

2018年の韓国人出国者数は前年比8%増の2,870万人で、出国率は55.5%に達した(表II-1-7)。2017年の方面別韓国人訪問者数をみると日本が最も多く、次いで中国やベトナムなどの近隣アジアが続く。ただし中国への出国者数は前年比マイナスとなっており、中国との関係悪化も影響しているとみられる(表II-1-6)。2018年の訪日韓国人旅行者数は754万人で、前年比5.6%のプラスとなった。一方、出国者に占める訪日旅行者比率は26.3%と前年(26.9%)よりやや減少しており、近年続いていた上昇傾向がストップした(表II-1-7)。

2018年の訪日韓国人の平均泊数は4.4泊で、ほかの国籍・地域に比べ短い。リピーター率は増加傾向にあり、2018年は7割を超えた(表II-1-4)。

2018年の訪日韓国人旅行者1人当たり旅行支出はほかの国籍・地域の中で最も低い7.8万円であった。前年と比較すると6千円ほどのプラスで、費目別にみると「その他」以外の全ての費目で増加している(図II-1-8)。為替レートに大きな変化はなく、為替による旅行支出への影響は小さいとみられる(表II-1-7)。購入率が高い商品は菓子類で8割以上が購入している(表II-1-5)。

表II-1-4 訪日韓国人の旅行動向

	2017	2018	前年との差
訪日韓国人旅行者数(万人)	714	754	40
平均泊数(泊)	4.3	4.4	0.1
観光レジャー比率	81.6%	83.2%	1.6%
リピーター率	68.2%	71.2%	3.1%
ツアー利用率	17.4%	15.6%	▲1.9%

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

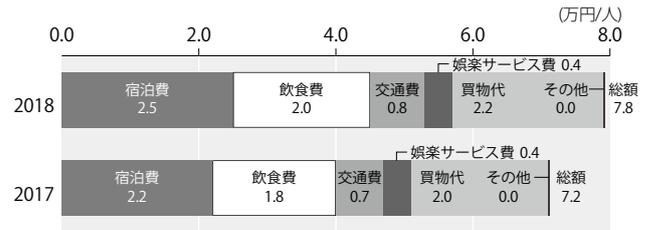
表II-1-7 韓国基本情報

	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2024
①人口(万人) *1	4,819	4,955	4,994	5,020	5,043	5,075	5,102	5,125	5,145	5,166	5,187	5,209	5,294
②韓国人出国者数(万人) *2	1,008	1,249	1,269	1,374	1,485	1,608	1,931	2,238	2,650	2,870	-	-	-
③出国率(%) (②÷①)	20.9	25.2	25.4	27.4	29.4	31.7	37.9	43.7	51.5	55.5	-	-	-
④訪日韓国人旅行者数(万人) *3	174.7	244.0	165.8	204.3	245.6	275.5	400.2	509.0	714.0	753.9	-	-	-
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(%) (④÷②)	17.3	19.5	13.1	14.9	16.5	17.1	20.7	22.7	26.9	26.3	-	-	-
⑥為替レート(100円/韓国ウォン) *1	10.8	7.6	7.2	7.1	8.9	10.0	10.7	9.4	9.9	10.0	9.6	-	-
⑦GDP成長率(%) *1	3.9	6.5	3.7	2.3	2.9	3.3	2.8	2.9	3.1	2.7	2.6	2.8	2.9
⑧一人当たりGDP(米ドル) *1	18,640	22,087	24,080	24,359	25,890	27,811	27,105	27,608	29,750	31,346	31,937	33,491	40,631

(注1) 斜体は推計値。(注2) ⑥為替レートの2019年の数値は2019年1~6月の平均値

資料：IMF (\*1)、KTO (\*2)、JNTO (\*3)

図II-1-8 訪日韓国人の1人当たり旅行支出



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-5 費目別購入率及び購入者単価(韓国、2018年)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円/人)
1位	菓子類	82.5	6,003
2位	医薬品	43.0	5,948
3位	その他食料品・飲料・たばこ	36.3	4,580
4位	化粧品・香水	31.2	8,553
5位	酒類	29.5	5,090
6位	衣類	23.6	12,816
7位	健康グッズ・トイレットリー	12.8	6,276
8位	靴・かばん・革製品	9.8	12,462
9位	民芸品・伝統工芸品	4.9	4,279
10位	本・雑誌・ガイドブックなど	3.0	5,686

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-6 アジア各国・地域への韓国人訪問者数

(単位：万人)

訪問先	基準	2012	2013	2014	2015	2016	2017
日本	NFV	204.3	245.6	275.5	400.2	509.0	714.0
台湾	RFV	25.9	35.1	52.8	65.9	88.4	105.5
香港	RFV	72.6	74.5	89.5	93.3	107.2	116.1
中国	NFV	407.0	396.9	418.2	444.4	477.5	386.4
タイ	NFT	115.3	129.2	110.9	135.9	145.0	170.9
シンガポール	RFV	44.5	47.2	53.7	57.7	56.7	63.1
マレーシア	NFV	28.4	27.5	38.6	42.1	44.4	48.5
インドネシア	RFT	32.9	35.1	35.2	37.6	38.7	-
フィリピン	RFT	103.1	116.6	117.5	134.0	147.5	160.8
ベトナム	RFV	70.1	74.9	84.8	111.3	154.4	241.5
カンボジア	RFT	41.1	43.5	42.4	39.5	35.7	34.5

資料：日本政府観光局(JNTO)「日本の国際観光統計(2017)」  
(注) [N]国籍別統計、[R]居住地域別統計/[F]国境到着者数/[V]日帰りを含む旅行者数、[T]宿泊を伴った旅行者数

②台湾

台湾人出国者数と出国率は共に増加傾向が続いており、2018年の出国者数は1,664万人となった。出国者に占める訪日旅行者比率は前年比0.6%減の28.6%となっており、2011年以降続いていた上昇傾向がストップした(表II-1-11)。方面別旅行先では、2015年以降日本が1位となっており、2018年は483万人と2位である中国と約65万人の差がついている(表II-1-10)。2018年の訪日台湾人旅行者数は476万人となった(表II-1-11)。

台湾はほかの国籍・地域と比較してツアー利用率が高いものの、近年は急激な個人旅行化が進行しており、2018年のツアー利用率は39.5%と4割を切った。リピーター率も高く、2018年は前年比0.7%ポイント増の82.4%であった(表II-1-8)。

2018年の訪日台湾人旅行者の1人当たり旅行支出は12.8万円であった。費目別にみると、前年と比べて買物代が減少し、宿泊費や飲食費、娯楽サービス費が増加している(図II-1-9)。

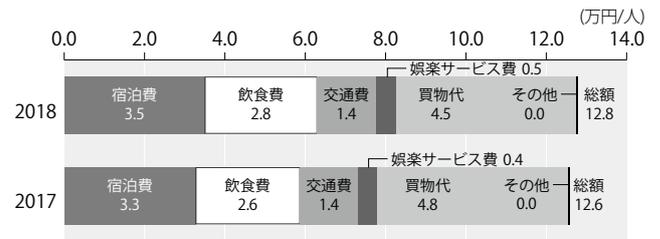
買物代のうち、購入率が高いのは「菓子類」のほか、「医薬品」や「衣類」などとなっている(表II-1-9)。

表II-1-8 訪日台湾人の旅行動向

	2017	2018	前年との差
訪日台湾人旅行者数(万人)	456	476	19
平均泊数(泊)	6.7	6.8	0.1
観光レジャー比率	84.0%	88.1%	4.1%
リピーター率	81.7%	82.4%	0.7%
ツアー利用率	47.2%	39.5%	▲7.6%

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図II-1-9 訪日台湾人の1人当たり旅行支出



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-9 費目別購入率及び購入者単価(台湾、2018年)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円/人)
1位	菓子類	73.6	8,899
2位	医薬品	56.9	14,473
3位	衣類	41.0	14,090
4位	その他食料品・飲料・たばこ	40.8	7,536
5位	化粧品・香水	40.7	13,835
6位	健康グッズ・トイレットリー	30.5	13,570
7位	靴・かばん・革製品	21.3	15,536
8位	酒類	17.8	5,440
9位	電気製品 (デジタルカメラ/PC/家電等)	17.8	24,371
10位	生鮮農産物	16.3	3,626

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-10 方面別台湾人旅行者数

	2014			2015			2016			2017			2018		
	国・地域	人数(万人)	前年比(%)												
1位	中国	326.7	6.3	日本	379.8	27.8	日本	429.5	13.1	日本	461.6	7.5	日本	482.6	4.6
2位	日本	297.2	26.7	中国	340.4	4.2	中国	368.5	8.3	中国	392.8	6.6	中国	417.3	6.2
3位	香港	201.8	▲1.0	香港	200.8	▲0.5	香港	190.3	▲5.3	香港	177.3	▲6.8	香港	169.6	▲4.3
4位	韓国	62.7	20.9	タイ	60.0	43.0	韓国	80.8	61.7	韓国	88.9	9.9	韓国	108.7	22.3
5位	マカオ	49.3	▲4.2	マカオ	52.7	6.9	マカオ	59.9	13.6	マカオ	58.9	▲1.6	タイ	67.9	22.6

(注) 出発地側の発表データであり、到着地側が公表している各国の到着者数とは一致しない。

資料：台湾交通部観光局

表II-1-11 台湾基本情報

	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2024
①人口(万人) *1	2,277	2,316	2,323	2,332	2,337	2,343	2,349	2,354	2,357	2,360	2,363	2,367	2,379
②台湾人出国者数(万人) *2	821	942	958	1,024	1,105	1,184	1,318	1,459	1,565	1,664	-	-	-
③出国率(%) (②÷①)	36.0	40.6	41.3	43.9	47.3	50.5	56.1	62.0	66.4	70.5	-	-	-
④訪日台湾人旅行者数(万人) *3	127.5	126.8	99.4	146.6	221.1	283.0	367.7	416.8	456.4	475.7	-	-	-
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(%) (④÷②)	15.5	13.5	10.4	14.3	20.0	23.9	27.9	28.6	29.2	28.6	-	-	-
⑥為替レート(円/台湾ドル) *1,*4	3.4	2.8	2.7	2.7	3.3	3.5	3.8	3.4	3.7	3.7	3.6	-	-
⑦GDP成長率(%) *1	5.4	10.6	3.8	2.1	2.2	4.0	0.8	1.5	3.1	2.6	2.5	2.5	2.1
⑧一人当たりGDP(米ドル) *1	16,503	19,262	20,912	21,270	21,888	22,639	22,374	22,573	24,390	24,971	25,448	26,777	33,786

(注1) 斜体は推計値。(注2) ⑥為替レートの2019年の数値は2019年1~6月の平均値

資料：IMF(\*1)、台湾交通部観光局(\*2)、JNTO(\*3)、FRB(\*4)

③香港

香港人出国者数は2016年まで増加傾向にあったが、2017年は前年比マイナスの9,134万人となった(表II-1-15)。2017年においては、中国以外の訪問地では日本が最も多く223万人、次いで台湾が154万人となっている(表II-1-14)。訪日香港人旅行者数は2017年に過去最高の223万人に達したものの、2018年は221万人と前年比1%のマイナスに転じた(表II-1-15)。

訪日香港人の特徴は観光レジャー比率とリピーター率が高いことである。2018年の観光レジャー比率は92.9%、リピーター率は85.6%で、いずれも増加傾向にある。個人旅行化も進行しており、2018年のツアー利用率は前年から3.8%ポイント減の21.8%となった(表II-1-12)。

訪日香港人の1人当たり旅行支出は15.5万円と前年に比べ大きな変化はみられない。費目別にみると買物代が減少し、その分宿泊費や飲食費が増加している。ほかの国籍・地域に比べて1泊あたりの滞在費(宿泊費・飲食費)が高い点が香港の特徴であるが、その傾向に変化はみられない(図II-1-10)。

買物代は「衣類」の購入率が53.9%とほかの国籍・地域に比べ高い傾向にある(表II-1-13)。

表II-1-12 訪日香港人の旅行動向

	2017	2018	前年との差
訪日香港人旅行者数(万人)	223	221	-2
平均泊数(泊)	6.1	6.3	0.1
観光レジャー比率	87.7%	92.9%	5.2%
リピーター率	83.6%	85.6%	2.1%
ツアー利用率	25.5%	21.8%	▲3.8%

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

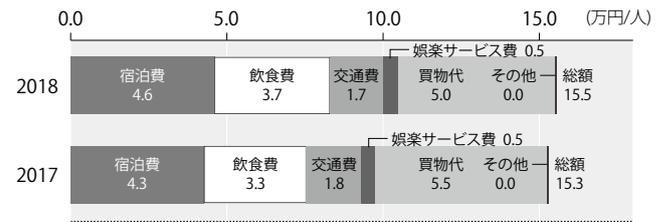
表II-1-15 香港基本情報

	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2024
①人口(万人) *1	684	705	711	717	721	725	731	738	741	748	755	762	780
②香港人出国者数(万人) *2	7,230	8,444	8,482	8,528	8,441	8,452	8,908	9,176	9,134	-	-	-	-
③出国率(%) (②÷①)	1057.3	1197.4	1192.9	1189.2	1170.6	1165.3	1218.6	1243.9	1232.2	-	-	-	-
④訪日香港人旅行者数(万人) *2	29.9	50.9	36.5	48.2	74.6	92.6	152.4	183.9	223.2	220.8	-	-	-
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(%) (④÷②)	0.4	0.6	0.4	0.6	0.9	1.1	1.7	2.0	2.4	-	-	-	-
⑥為替レート(円/香港ドル) *1,*3	14.2	11.3	10.2	10.3	12.6	13.6	15.6	14.0	14.4	14.1	14.0	-	-
⑦GDP成長率(%) *1	7.4	6.8	4.8	1.7	3.1	2.8	2.4	2.2	3.8	3.0	2.7	3.0	3.0
⑧一人当たりGDP(米ドル) *1	26,552	32,422	34,951	36,620	38,230	40,182	42,322	43,496	46,091	48,517	50,542	52,738	62,848

(注1) 斜体は推計値。(注2) ⑥為替レートの2019年の数値は2019年1~6月の平均値

資料：IMF(\*1)、JNTO(\*2)、FRB(\*3)

図II-1-10 訪日香港人の1人当たり旅行支出



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-13 費目別購入率及び購入者単価(香港、2018年)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円/人)
1位	菓子類	63.6	9,171
2位	衣類	53.9	21,696
3位	化粧品・香水	45.9	20,341
4位	医薬品	42.8	9,473
5位	その他食料品・飲料・たばこ	38.1	8,931
6位	靴・かばん・革製品	32.1	20,323
7位	生鮮農産物	20.5	4,031
8位	健康グッズ・トイレタリー	20.3	9,715
9位	酒類	15.0	7,288
10位	民芸品・伝統工芸品	6.5	12,262

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-14 アジア各国・地域への香港人訪問者数

(単位：万人)

訪問先	基準	2012	2013	2014	2015	2016	2017
日本	NFV	48.2	74.6	92.6	152.4	183.9	223.2
韓国	NFV	36.0	40.0	55.8	52.3	65.1	65.8
台湾	RFV	95.0	110.5	127.6	139.0	147.5	154.1
中国	NFV	7,871.3	7,688.5	7,613.2	7,944.8	-	-
タイ	NFT	60.5	69.4	55.9	70.8	69.0	82.1
シンガポール	RFV	47.2	54.0	63.1	61.0	53.8	46.6
マレーシア	NFV	-	0.1	0.1	0.1	-	-
インドネシア	RFT	8.2	9.5	9.5	9.4	10.1	-
フィリピン	RFT	11.9	12.6	11.4	12.2	11.6	11.1
ベトナム	RFV	1.3	1.0	1.5	-	3.5	4.8
カンボジア	RFT	0.8	0.9	1.0	1.5	1.6	1.3

資料：日本政府観光局(JNTO)「日本の国際観光統計(2017)」  
(注) [N]国籍別統計、[R]居住地別統計/[F]国境到着者数/[V]日帰りを含む旅行者数、[T]宿泊を伴った旅行者数

④中国

中国人出国者数は近年大幅な増加を続けており、2018年は前年比13%増の1億6,199万人となった。出国率はほかの東アジア諸国に比べて低いものの、年々上昇を続け2018年は11.6%に達している。出国者に占める訪日旅行者比率は2013年以降増加傾向にあったが、2018年は前年比横ばいとなり5.2%であった(表Ⅱ-1-19)。2017年における中国人出国者の訪問先は、香港に次いでタイ、日本の順が多い。2016年までは日本よりも韓国の方が訪問者数は多かったが、2017年に逆転した。これは中国政府が2017年3月より、韓国による米軍の高高度ミサイル防衛システム配備に対する報復措置として訪韓旅行商品への規制を行い、韓国への訪問者数が激減したことによる。このほか、ベトナムへの訪問者数も大きく増加している(表Ⅱ-1-18)。

2018年の訪日中国人旅行者数は838万人であり、そのシェアは訪日外国人全体の27%と最も大きい。近年は個人旅行化が進行しており、2018年のツアー利用率は39.6%と4割を切った。リピーター率も増加傾向にあったが、2018年は46.1%で前年比プラス0.5%ポイントの微増であった。かつては初めて訪日するツアー利用客が多かったが、2015年以降は個人旅行やリピーター客が増加する動きが続いている(表Ⅱ-1-16)。

2018年の訪日中国人旅行者の1人当たり旅行支出は22.5万円で前年から0.5万円の減少となった。為替レートについては2017年から2018年にかけて大きな変化はみられない。費目別にみると買物代が0.7万円減少しているが、依然として支出全体の約半分を占めている(図Ⅱ-1-11)。

買物代のうち特に人気なのは「化粧品・香水」で約8割が購入している。購入者単価も5.4万円と、ほかの国籍・地域に比べ高い(表Ⅱ-1-17)。

表Ⅱ-1-16 訪日中国人の旅行動向

	2017	2018	前年との差
訪日中国人旅行者数(万人)	736	838	102
平均泊数(泊)	10.9	9.7	▲1.2
観光レジャー比率	77.1%	81.0%	3.9%
リピーター率	45.6%	46.1%	0.5%
ツアー利用率	43.1%	39.6%	▲3.5%

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表Ⅱ-1-19 中国基本情報

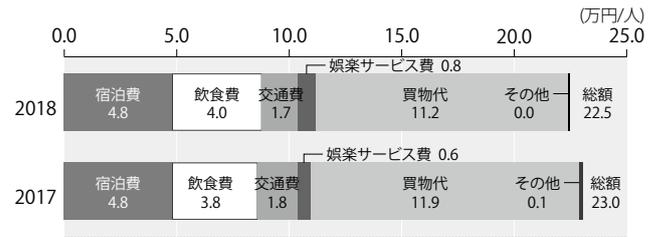
	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2024
①人口(万人) *1	130,756	134,091	134,735	135,404	136,072	136,782	137,462	138,271	139,008	139,538	140,017	140,444	141,102
②中国人出国者数(万人) *2	3,103	5,739	7,025	8,318	9,819	11,659	12,786	13,513	14,273	16,199	-	-	-
③出国率(%) (②÷①)	2.4	4.3	5.2	6.1	7.2	8.5	9.3	9.8	10.3	11.6	-	-	-
④訪日中国人旅行者数(万人) *3	65.3	141.3	104.3	142.5	131.4	240.9	499.4	637.4	735.6	838.0	-	-	-
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(%) (④÷②)	2.1	2.5	1.5	1.7	1.3	2.1	3.9	4.7	5.2	5.2	-	-	-
⑥為替レート(円/中国元) *1	13.5	13.0	12.3	12.6	15.8	17.2	19.5	16.4	16.6	16.7	16.2	-	-
⑦GDP成長率(%) *1	11.3	10.6	9.5	7.9	7.8	7.3	6.9	6.7	6.8	6.6	6.3	6.1	5.5
⑧一人当たりGDP(米ドル) *1	1,766	4,524	5,583	6,329	7,081	7,702	8,167	8,116	8,677	9,608	10,153	11,014	15,102

(注1) 斜体は推計値

(注2) ②中国人出国者数は香港・マカオへの出国者を含むが、日帰りは含んでいない。(注3) ⑥為替レートの2019年の数値は2019年1~6月の平均値

資料：IMF(\*1)、中国国家统计局(\*2)、JNTO(\*3)

図Ⅱ-1-11 訪日中国人の1人当たり旅行支出



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表Ⅱ-1-17 費目別購入率及び購入者単価(中国、2018年)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円/人)
1位	化粧品・香水	79.5	54,224
2位	菓子類	70.1	10,431
3位	医薬品	49.0	23,490
4位	衣類	35.8	30,890
5位	その他食料品・飲料・たばこ	32.2	12,504
6位	靴・かばん・革製品	25.2	41,374
7位	健康グッズ・トイレタリー	22.5	24,876
8位	電気製品(デジタルカメラ/PC/家電等)	18.0	37,082
9位	酒類	13.1	11,230
10位	時計・フィルムカメラ	6.5	85,891

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表Ⅱ-1-18 アジア各国・地域への中国人訪問者数

(単位：万人)

訪問先	基準	2012	2013	2014	2015	2016	2017
日本	NFV	142.5	131.4	240.9	499.4	637.4	735.6
韓国	NFV	283.7	432.7	612.7	598.4	806.8	416.9
台湾	RFV	258.6	287.5	398.7	418.4	351.2	273.3
香港	RFV	1,511.0	1,709.0	1,907.7	1,799.7	1,736.5	1,852.6
タイ	NFV	276.1	461.0	463.2	798.1	882.1	980.6
シンガポール	RFV	203.4	227.0	172.2	210.6	286.4	322.7
マレーシア	NFV	158.3	179.1	161.3	167.7	212.5	228.2
インドネシア	RFV	72.6	85.8	105.3	124.9	155.7	-
フィリピン	RFV	25.1	42.6	394.6	49.1	67.6	96.8
ベトナム	RFV	142.9	190.8	194.7	178.1	269.7	400.8
カンボジア	RFV	33.4	46.3	56.0	69.5	83.0	121.1

資料：日本政府観光局(JNTO)「日本の国際観光統計(2017)」

(注) [N]国籍別統計、[R]居住地別統計/[F]国境到着者数/[V]日帰りを含む旅行者数、[T]宿泊を伴った旅行者数

⑤タイ

タイ人出国者数は増加傾向が続いており、2017年は9.3%増の896万人となった(表II-1-23)。2017年におけるタイ人出国者のうち最も訪問者数の多い国・地域はマレーシア、次いで2位が日本であった。前年からの増加率では日本(9.5%増)よりも台湾(49.5%増)やベトナム(13.0%増)のほうが高い(表II-1-22)。2017年の出国者に占める訪日旅行者比率は11.0%で、前年比横ばいとなっている(表II-1-23)。

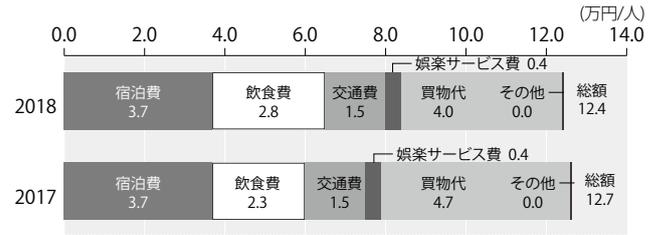
2018年の訪日タイ人旅行者数は113.2万人で前年比14.5%の増加となった。増加率は2017年まで鈍化傾向が続いていたが2018年は回復がみられた(表II-1-23)。

旅行動向をみると、2018年は前年に比べリピーター率の減少とともにツアー利用率が上昇しており、初めて訪日するツアー利用客が増えたものとみられる(表II-1-20)。

2018年の訪日タイ人旅行者の1人当たり旅行支出は12.4万円、前年からの大きな変化はみられない。費目別では買物代が減少し、代わりに飲食費が増加している(図II-1-12)。

買物代のうち人気なのは「菓子類」で7割以上が購入している。購入者単価も1.2万円と、ほかの国籍・地域と比べて高い(表II-1-21)。

図II-1-12 訪日タイ人の1人当たり旅行支出



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-21 費目別購入率及び購入者単価(タイ、2018年)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円/人)
1位	菓子類	72.4	11,738
2位	靴・かばん・革製品	44.8	18,842
3位	化粧品・香水	43.7	14,590
4位	衣類	37.6	15,722
5位	その他食料品・飲料・たばこ	31.3	9,919
6位	酒類	14.2	6,457
7位	医薬品	12.5	7,280
8位	時計・フィルムカメラ	8.9	22,569
9位	生鮮農産物	7.5	5,676
10位	健康グッズ・トイレットリー	6.5	11,469

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-20 訪日タイ人の旅行動向

	2017	2018	前年との差
訪日タイ人旅行者数(万人)	99	113	14
平均泊数(泊)	10.1	8.8	▲1.3
観光レジャー比率	72.6%	79.9%	7.3%
リピーター率	69.1%	67.1%	▲2.0%
ツアー利用率	25.5%	30.0%	4.5%

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-22 アジア各国・地域へのタイ人訪問者数

(単位：万人)

訪問先	基準	2012	2013	2014	2015	2016	2017
日本	NFV	26.1	45.4	65.8	79.7	90.2	98.7
韓国	NFV	38.7	37.3	46.7	37.2	47.0	49.9
台湾	RFV	9.8	10.4	10.5	12.4	19.6	29.3
香港	RFV	38.9	42.7	39.5	41.1	45.5	43.0
中国	NFV	64.8	65.2	61.3	64.2	75.3	77.7
シンガポール	RFV	47.8	49.7	50.7	51.6	54.7	53.1
マレーシア	NFV	126.3	115.6	129.9	134.4	178.1	183.7
インドネシア	RFT	11.5	12.5	11.4	11.9	12.5	-
フィリピン	RFT	4.1	4.8	4.6	4.4	4.8	4.9
ベトナム	RFV	22.6	26.9	24.7	21.5	26.7	30.2
カンボジア	RFT	20.1	22.1	27.9	35.0	39.8	39.5

資料：日本政府観光局(JNTO)「日本の国際観光統計(2017)」  
(注) [N]国籍別統計、[R]居住地別統計/[F]国境到着者数/[V]日帰りを含む旅行者数、[T]宿泊を伴った旅行者数

表II-1-23 タイ基本情報

	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2024
①人口(万人) *1	6,405	6,592	6,621	6,649	6,676	6,700	6,724	6,746	6,765	6,779	6,791	6,802	6,826
②タイ人出国者数(万人) *2	305	534	540	572	597	644	679	820	896	-	-	-	-
③出国率(%) (②÷①)	4.8	8.1	8.2	8.6	8.9	9.6	10.1	12.2	13.2	-	-	-	-
④訪日タイ人旅行者数(万人) *2	12.0	21.5	14.5	26.1	45.4	65.8	79.7	90.2	98.7	113.2	-	-	-
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(%) (④÷②)	3.9	4.0	2.7	4.6	7.6	10.2	11.7	11.0	11.0	-	-	-	-
⑥為替レート(円/バーツ) *1	2.7	2.8	2.6	2.6	3.2	3.3	3.5	3.1	3.3	3.4	3.5	-	-
⑦GDP成長率(%) *1	4.2	7.5	0.8	7.2	2.7	1.0	3.1	3.4	4.0	4.1	3.5	3.5	3.6
⑧一人当たりGDP(米ドル) *1	2,956	5,175	5,601	5,979	6,296	6,080	5,968	6,114	6,731	7,187	7,608	8,049	9,949

(注1) 斜体は推計値。(注2) ②タイ人出国者数は日帰りを含まない。(注3) ⑥為替レートの2019年の数値は2019年1~6月の平均値

資料：IMF(\*1)、JNTO(\*2)

⑥米国

米国人出国者数は増加傾向にあり、2017年は前年から9.0%増の5,295万人となった(表II-1-26)。方面別旅行先ではメキシコとカナダが長年トップの座を占めている。アジアでは1位が中国、2位が日本、3位がインドとなった。2016年まで2位はインドであったが、2017年は伸び率がマイナスへと転じたことで順位を下げた。2017年における日本の伸び率は17%と高く、米国人出国者数の増加率(9.0%)を超える(表II-1-25)。2018年の訪日米国人旅行者数は153万人と過去最高を記録した(表II-1-26)。

表II-1-24 訪日米国人の旅行動向

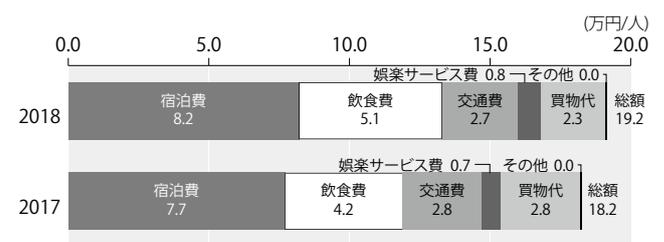
	2017	2018	前年との差
訪日米国人旅行者数(万人)	137	153	15
平均泊数(泊)	13.8	13.5	▲0.3
観光レジャー比率	47.1%	50.7%	3.6%
リピーター率	49.8%	47.1%	▲2.7%
ツアー利用率	9.0%	10.3%	1.3%

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

訪日米国人旅行者は従来業務目的客が多かったが、近年は観光レジャー比率が高まっており、2018年は5割を超えた。客層としては、リピーター率の減少とツアー利用率の増加がみられる(表II-1-24)。

2018年の訪日米国人旅行者1人当たり旅行支出は19.2万円で、前年から1.0万円の増加となった。費目別では宿泊費の占める割合が高く、買物代が低い傾向にある。2018年は前年に比べ宿泊費と飲食費が増加し、買物代が減少した(図II-1-13)。

図II-1-13 訪日米国人の1人当たり旅行支出



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-25 方面別米国人旅行者数

2013				2014				2015				2016				2017			
順位	国・地域	人数(万人)	前年比(%)																
1位	メキシコ(空路のみ)	621.9	8	1位	メキシコ(空路のみ)	693.1	11	1位	メキシコ(空路のみ)	799.4	15	1位	メキシコ(空路のみ)	893.4	12	1位	メキシコ(空路のみ)	981.1	10
2位	カナダ(空路のみ)	322.1	5	2位	カナダ(空路のみ)	341.0	6	2位	カナダ(空路のみ)	363.4	6	2位	カナダ(空路のみ)	451.6	17	2位	カナダ(空路のみ)	481.6	7
3位	英国	264.0	4	3位	英国	283.2	7	3位	英国	288.5	2	3位	英国	319.7	11	3位	英国	375.6	17
4位	フランス	200.2	▲1	4位	ドミニカ共和国	270.9	-	4位	ドミニカ共和国	278.7	3	4位	ドミニカ共和国	270.6	▲3	4位	ドミニカ共和国	272.1	1
5位	イタリア	179.9	▲7	5位	フランス	212.4	6	5位	フランス	236.1	11	5位	イタリア	221.4	9	5位	フランス	264.5	21
	ジャマイカ	179.9	19																
11位	日本	81.2	▲5	14位	日本	80.0	▲1	14位	日本	88.5	11	14位	日本	98.4	11	14位	日本	115.0	17

アジア

2013				2014				2015				2016				2017			
順位	国・地域	人数(万人)	前年比(%)																
1位	中国	113.2	▲1	1位	中国	113.9	1	1位	中国	121.3	7	1位	中国	130.0	7	1位	中国	138.0	6
2位	インド	104.5	11	2位	インド	107.7	3	2位	インド	108.2	0	2位	インド	119.5	10	2位	日本	115.0	17
3位	日本	81.2	▲5	3位	日本	80.0	▲1	3位	日本	88.5	11	3位	日本	98.4	11	3位	インド	111.1	▲7
4位	韓国	58.0	7	4位	フィリピン	70.8	22	4位	フィリピン	82.0	16	4位	フィリピン	91.4	11	4位	フィリピン	84.3	▲8
5位	フィリピン	58.0	▲3	5位	韓国	52.3	▲10	5位	香港	55.7	7	5位	香港	56.2	1	5位	香港	57.5	2

資料：U.S. Department of Commerce, International Trade Administration, National Travel & Tourism Office

表II-1-26 米国基本情報

	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2024
①人口(万人) *1	29,612	30,974	31,194	31,416	31,633	31,862	32,093	32,323	32,533	32,735	32,956	33,181	34,098
②米国人出国者数(万人) *2	3,837	3,736	3,601	3,787	3,846	4,113	4,464	4,859	5,295	-	-	-	-
③出国率(%) (②÷①)	13.0	12.1	11.5	12.1	12.2	12.9	13.9	15.0	16.3	-	-	-	-
④訪日米国人旅行者数(万人) *3	82.2	72.7	56.6	71.7	79.9	89.2	103.3	124.3	137.5	152.6	-	-	-
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(%) (④÷②)	2.1	1.9	1.6	1.9	2.1	2.2	2.3	2.6	2.6	-	-	-	-
⑥為替レート(円/米ドル) *1	110.2	87.8	79.8	79.8	97.7	105.6	121.1	108.7	112.1	110.4	110.0	-	-
⑦GDP成長率(%) *1	3.5	2.6	1.6	2.2	1.8	2.5	2.9	1.6	2.2	2.9	2.3	1.9	1.6
⑧一人当たりGDP(米ドル) *1	44,026	48,403	49,826	51,556	53,061	54,993	56,770	57,877	59,895	62,606	64,767	66,900	75,456

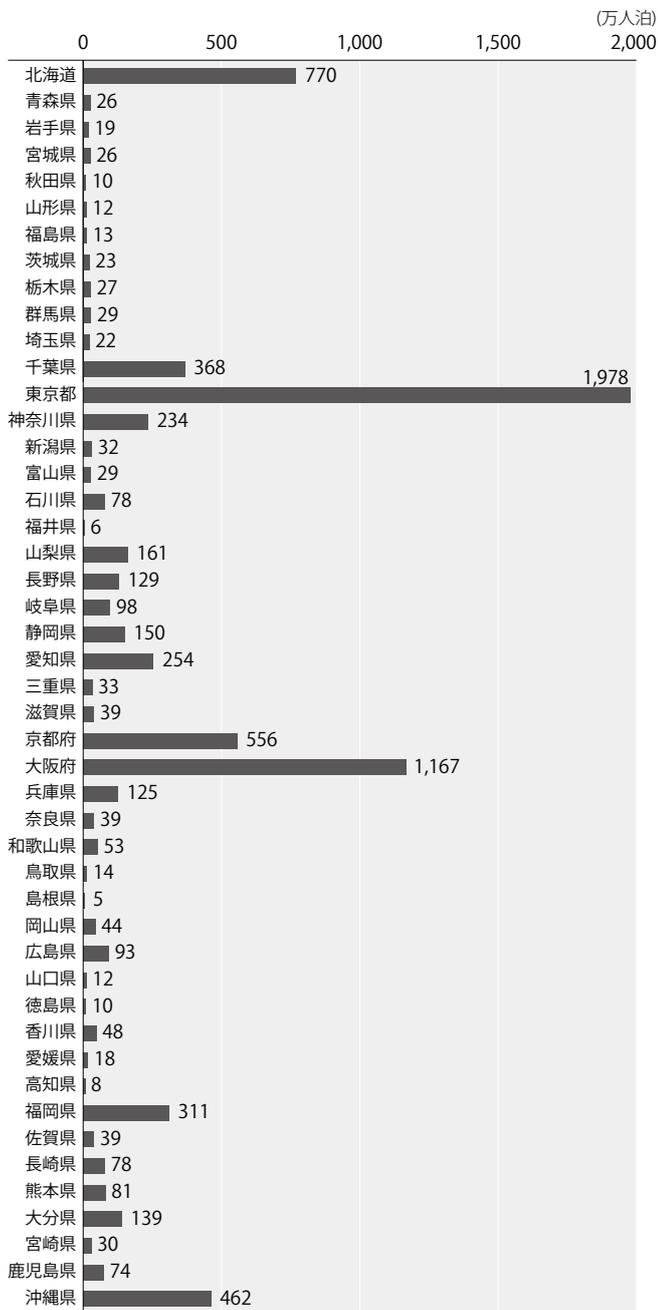
資料：IMF(\*1)、U.S. Department of Commerce, International Trade Administration(\*2)、JNTO(\*3)  
 (注1) 斜体は推計値。(注2) ②米国人出国者数はメキシコやカナダへの陸路による出国者数を除いた数値。(注3) ④為替レートの2019年の数値は2019年1~6月の平均値  
 (注4) 出発地側の発表データであり、到着地側が公表している各国の到着者数とは一致しない。

(2) 都道府県別にみる訪日旅行動向

① 延べ宿泊者数

観光庁「宿泊旅行統計調査」によると、2018年における訪日外国人の延べ宿泊者数は5億3,800万人泊であった。都道府県別にみると、東京都(1,978万人泊)と大阪府(1,167万人泊)が圧倒的に多く、次いで北海道、京都府、沖縄県と続く。千葉県や神奈川県、山梨県などの東京都周辺と、長野県や静岡県、愛知県などの中部地方も、100~300万人泊程度と多い。九州地方では福岡県が311万人泊、大分県が139万人泊と多い。一方、東北や北関東、山陰、四国地方は少なく、10万人泊に満たない県も存在する(図II-1-14)。

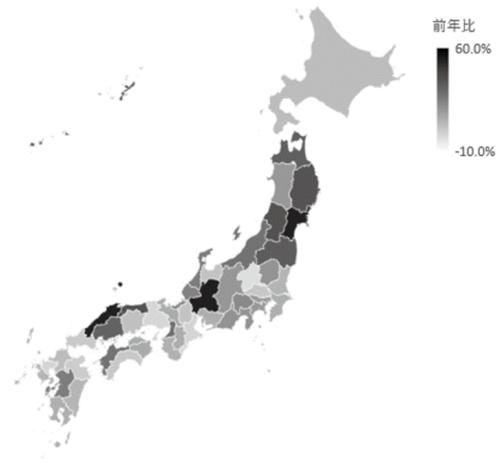
図II-1-14 都道府県別訪日外国人延べ宿泊者数(2018年)



資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」

訪日外国人延べ宿泊者数の前年比を都道府県別にみると、群馬県以外の全ての都道府県でプラスとなった。地方部では特に東北地方や山陰地方、岐阜県、広島県、沖縄県などで高く、前年比プラス30~50%である。都市部では、東京都がプラス17%程度であるのに対し、大阪府はプラス30%と高い(図II-1-15)。

図II-1-15 都道府県別訪日外国人延べ宿泊者数の前年比



資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」

② クルーズ客数

船舶観光上陸許可を受けた外国人数(クルーズ客数)は九州や沖縄地方で多く、中でも博多港や長崎港、那覇港で特に多い。このほか長崎県内では佐世保港、沖縄県内では平良・石垣港も多い。

国籍・地域別では中国が190.3万人と全体の81%を占めている。台湾人クルーズ客はほとんどが沖縄県内で上陸しており、那覇港、平良港、石垣港を合わせると、台湾人クルーズ客全体の9割弱を占める(表II-1-27)。

表II-1-27 船舶観光上陸許可を受けた外国人数(2018年)

(単位：人)

国籍・地域 上陸港	国籍・地域				
	全国籍	韓国	台湾	香港	中国
日本全国	2,337,803	13,099	269,822	42,493	1,903,315
関門港	91,934	34	112	165	89,952
博多港	535,624	210	2,404	2,489	517,882
長崎港	472,383	517	6,864	1,863	449,378
佐世保港	183,965	19	256	253	180,622
八代港	94,896	54	396	247	92,334
鹿児島港	162,961	143	7,499	984	151,631
那覇港	498,656	3,361	132,300	32,824	295,480
平良港	93,322	14	27,664	2,055	55,274
石垣港	105,376	135	80,720	762	3,017
その他	98,686	8,612	11,607	851	67,745

資料：法務省「出入国管理統計」

③訪日観光客の国籍・地域比率

各都道府県を訪問する外国人観光客（観光・レジャー目的で訪れた訪日外国人。クルーズ客を除く）の国籍・地域別比率を示す。

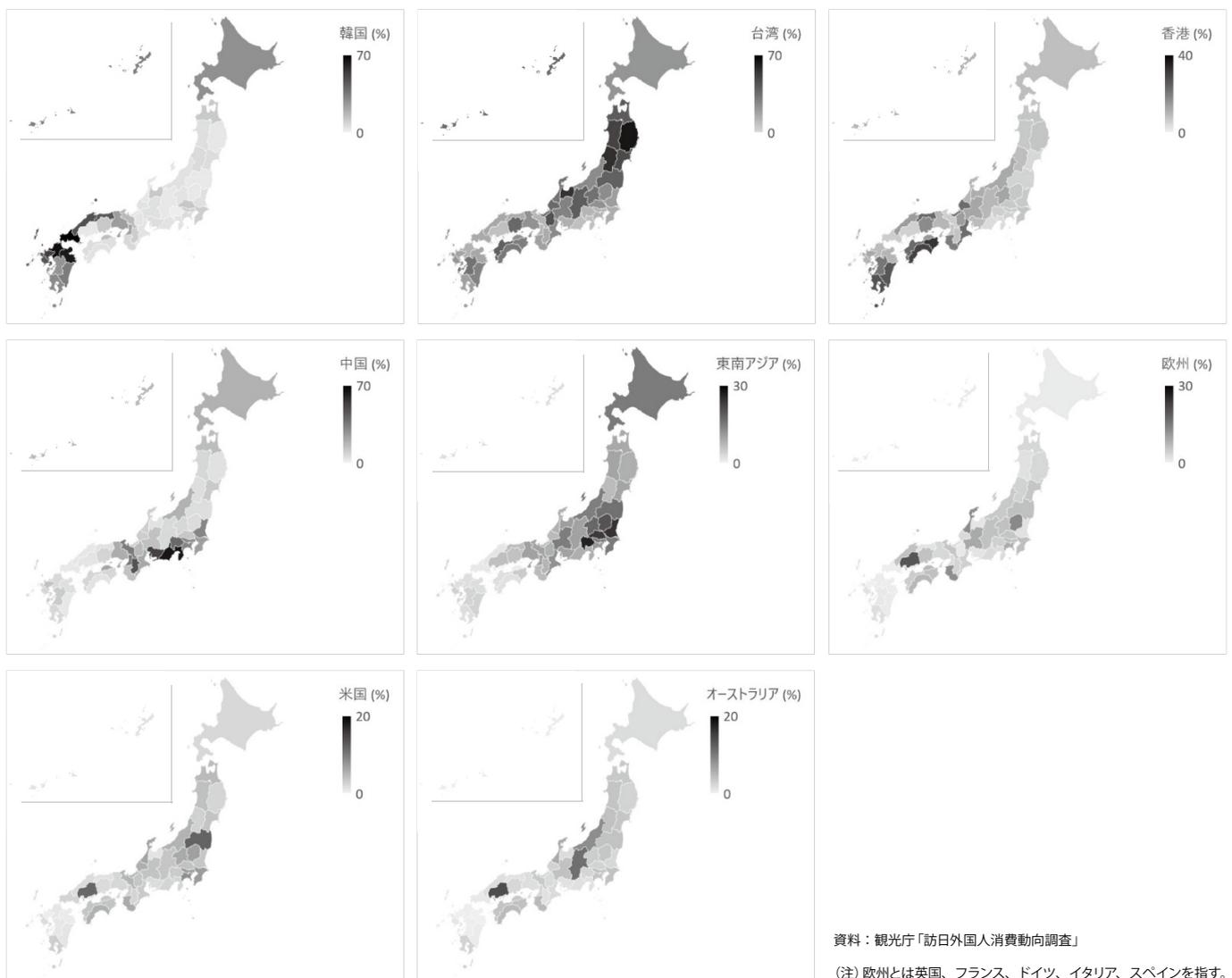
東アジアは国籍・地域によって訪問地が大きく異なり、全国各地に分散している。韓国人比率は九州や山陰地方で高い傾向にある。特に福岡、大分、山口県における比率が高く、訪日外国人の6～7割を韓国人が占めている。また東日本においては北海道で比較的高い。台湾人比率は東北や北陸、甲信越地方で高い傾向がみられる。特に岩手県や山形県では6割前後と高い。香港人比率は四国地方や九州地方南部で高い傾向がみられ、2～3割程度を占めている。このほか、

三重県や鳥取県などでも高い。中国人比率は山梨、静岡、愛知、奈良県と京都、大阪府などのゴールデンルート上で高い。静岡県では約6割を中国人が占める。

東南アジア人比率は、関東地方を中心に高い傾向がみられ、特に茨城県と埼玉、山梨県では約1/4を占めている。

欧米豪の比率は有名歴史観光地を抱える地方の都道府県において高い点が共通しており、栃木県（日光）、石川県（金沢）、広島県（宮島）などで高い。このうち広島県は特に高く欧米豪を合わせた訪問者の比率は5割弱に達する。このほか欧州人比率は和歌山県、米国人比率は福島県、オーストラリア人比率は新潟と長野県でも高い（図II-1-16）。

図II-1-16 都道府県別 訪日観光客の国籍・地域別比率（観光・レジャー目的客）



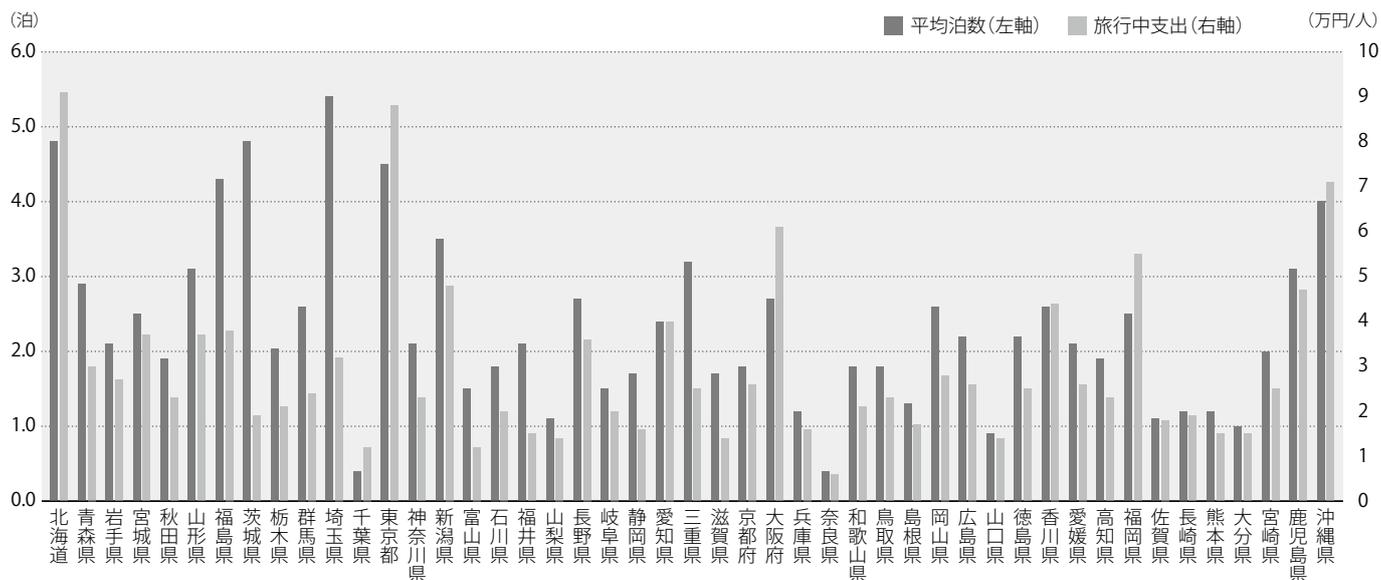
④都道府県別 訪日観光客の平均泊数と旅行中支出

各都道府県を訪問する外国人観光客による、都道府県別の平均泊数と旅行中支出をみると、泊数の長さや旅行中支出は概ね連動していることがわかる。北海道や東京都、沖縄県は平均泊数が長く旅行中支出も高い。逆に、日帰り客の多い奈良県や、成田空港利用者が大半の千葉県は平均泊数が短く旅行中支出も低い。一方で、福島県、茨城県、埼玉県などは、平均泊数が長いにもかかわらず、旅行中支出は低い(図II-1-17)。

地域ブロック別にみると、平均泊数は関東、北海道、東北地方の順で長い。旅行中支出は関東地方で10.0万円と最も高く、次いで北海道、近畿、沖縄地方の順となっている。

旅行中支出を国籍・地域別にみると、東北地方では台湾、中部地方では香港、沖縄地方では中国が高い。それ以外の地方では、香港と中国がともに高い傾向にある(表II-1-28)。(川村竜之介)

図II-1-17 都道府県別 訪日観光客の平均泊数・旅行中支出(2018年)



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-28 国籍別地域ブロック別 訪日観光客の平均泊数・旅行中支出(2018年)

平均泊数		(単位：泊)						旅行中支出		(単位：万円/人)					
国籍・地域	全国籍・地域	韓国	台湾	香港	中国	タイ	米国	国籍・地域	全国籍・地域	韓国	台湾	香港	中国	タイ	米国
北海道	4.8	3.4	4.8	5.9	4.9	5.0	6.4	北海道	9.1	6.7	7.5	12.8	13.0	7.5	9.6
東北	4.7	3.9	4.4	4.7	3.5	3.5	6.5	東北	5.6	4.2	7.1	6.9	4.6	5.3	3.9
関東	5.4	3.9	4.9	4.9	3.8	5.3	7.3	関東	10.0	6.4	8.3	11.6	12.6	8.3	9.8
北陸信越	2.9	3.6	2.1	2.3	2.1	2.2	3.8	北陸信越	3.5	2.7	2.1	4.2	3.9	2.6	3.5
中部	2.7	3.7	2.5	3.4	2.1	2.3	3.1	中部	3.8	3.9	3.5	8.0	3.7	3.2	2.7
近畿	4.2	3.4	4.5	4.4	3.3	3.9	5.5	近畿	7.9	6.0	7.1	9.4	9.8	7.4	7.2
中国	2.3	1.1	2.8	3.0	5.2	1.7	3.0	中国	2.8	1.7	3.7	5.2	6.4	2.2	2.9
四国	3.5	2.7	3.8	4.0	3.0	-	4.9	四国	5.2	4.7	5.4	6.8	6.7	-	4.7
九州	3.5	2.6	4.6	5.2	4.9	5.2	6.7	九州	6.6	5.0	7.8	11.7	13.9	8.2	5.1
沖縄	4.0	3.1	4.1	4.6	4.2	-	12.0	沖縄	7.1	6.1	6.6	8.6	10.0	-	8.4
(以下再掲)								(以下再掲)							
東京都	4.5	3.4	3.9	4.4	3.0	3.7	6.4	東京都	8.8	5.5	6.8	10.2	11.0	6.6	9.0
大阪府	2.7	2.9	2.7	3.1	2.1	3.1	3.0	大阪府	6.1	5.1	5.0	6.9	8.0	6.1	3.5
京都府	1.8	0.6	1.7	1.4	1.3	1.0	3.5	京都府	2.6	1.3	2.3	2.6	2.2	1.9	5.0

(注1) 訪問地における泊数の平均値である。  
 (注2) 地方区分は国土交通省地方運輸局の管轄都道府県に基づく。  
 (注3) サンプル数が少ない数値は非表示としている。

(注1) 訪問地における1人当たり旅行中支出の平均値である。  
 パッケージツアー参加費に含まれる宿泊料金などの滞在費は含まない。  
 (注2) 地方区分は国土交通省地方運輸局の管轄都道府県に基づく。  
 (注3) サンプル数が少ない数値は非表示としている。

### ■ 世界の国際観光動向

世界の国際観光客到着数は前年比 5.4%増  
中国発が国際観光支出の2割を占める

#### (1) インバウンド(到着地側)の動向

##### ●国際観光客到着数

世界観光機関 (UNWTO)「Tourism Highlights」及び「World Tourism Barometer」によると、2018年における世界の国際観光客到着数 (International Tourist Arrivals) は14億100万人回 (前年比5.4%増) となり、過去最高を記録した (表II-1-29)。リーマン・ショック (08年) 後の一時的な減少を除けば、2000年以降は増加基調にある (図II-1-18)。

到着地域別にみると、2018年の国際観光客到着数はすべての地域において前年を上回った。中でも、イランやインドなどを含む南アジア地域で前年比19.4%増と高い伸びをみせた。日本を含む北東アジア地域は前年比6.1%増となり、世界全体の12.1%を占めた (表II-1-29)。

2018年の国際観光客到着数を到着国・地域別にみると、フランス、スペイン、米国、中国、イタリアの順で多く、これら上位の顔ぶれに変化はみられない。6位のトルコは前年比21.7%増と高い伸びを示している。10位の英国は前年比3.5%減となった。

北東アジア地域では、2017年3月に中国当局が旅行会社に対し韓国への旅行商品販売を中止させた影響で、2017年の韓国の国際観光客到着数が大幅に減少したが、2018年は前年比15.1%増と回復の兆しをみせた。なお、韓国では2018年2月に平昌冬季オリンピックが開催されている。2018年に国際観光客到着数が3,000万人回を超えた日本は、順位を上げて11位となった (表II-1-30)。

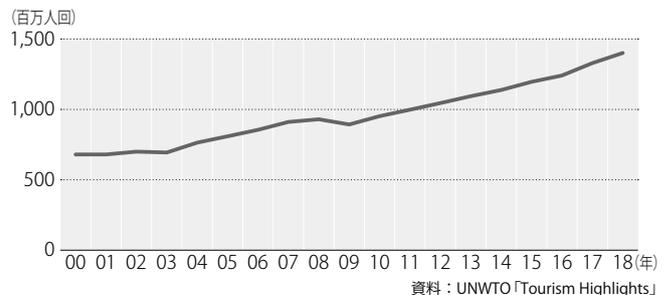
##### ●国際観光収入

2018年の国際観光収入 (International Tourism Receipts) は世界全体で1兆4,510億USDドル (前年比4.4%増) と推計される。到着地域別にみると、2018年の国際観光収入は国際観光客到着数と同様にすべての地域で前年を上回り、南アジア地

域で前年比10.4%と高い伸びを示した (表II-1-31)。

2018年の国際観光収入を到着国・地域別にみると、米国、スペイン、フランス、タイ、英国の順で高い。北東アジア地域では、2017年に中国、韓国、台湾で国際観光収入が前年に比べ減少したが、翌2018年はいずれも増加に転じた。日本は2017年に初のトップ10入りを果たし、2018年はさらに順位を上げ9位となった (表II-1-32)。

図II-1-18 国際観光客到着数の推移



表II-1-30 国際観光客到着数ランキング(到着国・地域別)

順位	到着国・地域	到着国・地域別 国際観光客到着数 (百万人回)						到着数 調査 方法
		2010	2016	2017	2018	17/16	18/17	
1位	フランス	77.6	82.7	86.9	89.4	5.1	2.9	TF
2位	スペイン	52.7	75.3	81.9	82.8	8.7	1.1	TF
3位	米国	60.0	76.4	76.9	79.6	0.7	3.5	TF
4位	中国	55.7	59.3	60.7	62.9	2.5	3.6	TF
5位	イタリア	43.6	52.4	58.3	62.1	11.2	6.7	TF
6位	トルコ	31.4	30.3	37.6	45.8	24.1	21.7	TF
7位	メキシコ	23.3	35.1	39.3	41.4	12.0	5.5	TF
8位	ドイツ	26.9	35.6	37.5	38.9	5.2	3.8	TCE
9位	タイ	15.9	32.5	35.5	38.3	9.1	7.9	TF
10位	英国	28.3	35.8	37.7	36.3	5.1	▲3.5	TF
(11位以下の主な北東アジアの国・地域)								
11位	日本	8.6	24.0	28.7	31.2	19.4	8.7	VF
14位	香港	20.1	26.6	27.9	29.3	5.0	4.9	TF
27位	韓国	8.8	17.2	13.3	15.3	▲22.7	15.1	VF
37位	台湾	5.6	10.7	10.7	11.1	0.5	3.0	VF

(注) 2018年は暫定値  
TF : 国境での調査(日帰りを除く)  
VF : 国境での調査(日帰りを含む)  
TCE : 公共的観光施設での調査

資料：UNWTO「Tourism Highlights」

表II-1-29 世界の国際観光客到着数(到着地域別)

	到着地域別 国際観光客到着数(百万人回)							シェア (%)	前年比 (%)		
	2000	2005	2010	2015	2016	2017	2018		2018	17/16	18/17
世界全体	680	809	952	1,195	1,241	1,329	1,401	100.0	7.0	5.4	
到着地域	ヨーロッパ	392.9	453.1	486.4	604.5	619.7	673.3	710.0	50.7	8.6	5.5
	アジア太平洋	110.4	154.1	208.2	284.6	306.6	324.0	347.7	24.8	5.7	7.3
	北東アジア	58.4	85.9	111.5	142.1	154.3	159.5	169.2	12.1	3.4	6.1
	東南アジア	36.3	49.0	70.5	104.2	110.8	120.5	128.7	9.2	8.8	6.8
	オセアニア	9.6	10.9	11.5	14.3	15.6	16.6	17.0	1.2	6.1	2.8
	南アジア	6.1	8.3	14.7	24.0	25.9	27.5	32.8	2.3	6.2	19.4
	アメリカ	128.2	133.3	150.4	194.1	201.3	210.8	215.7	15.4	4.7	2.3
アフリカ	26.2	34.8	50.4	53.5	57.8	62.7	67.1	4.8	8.5	7.0	
中東	22.4	34.0	56.1	58.3	55.5	57.7	60.5	4.3	4.1	4.7	

(注) 2018年は暫定値

資料：UNWTO「Tourism Highlights」「World Tourism Barometer」

表II-1-31 世界の国際観光収入(到着地域別)

	到着地域別国際観光収入 (10億USドル)					シェア (%)	前年比(現地通貨基準) (%)		到着地域別 国際観光客 到着数 (百万人回)	1人当たり 国際観光収入 (USドル/人回)	
	2010	2015	2016	2017	2018		2018	17/16			18/17
	2018										
世界全体	975	1,222	1,246	1,346	1,451	100.0	5.2	4.4	1,401	1,040	
到着地域	ヨーロッパ	422.8	468.8	469.4	519.5	570.5	39.3	7.5	4.9	710.0	800
	アジア太平洋	254.4	355.9	371.5	396.0	435.5	30.0	4.3	7.4	347.7	1,250
	北東アジア	123.0	167.1	169.5	168.1	188.4	13.0	▲1.5	8.9	169.2	1,110
	東南アジア	68.5	108.7	117.0	130.6	142.3	9.8	9.1	4.7	128.7	1,110
	オセアニア	42.8	48.1	51.7	57.4	61.1	4.2	6.1	6.9	17.0	3,590
	南アジア	20.1	32.1	33.3	39.9	43.6	3.0	13.9	10.4	32.8	1,330
	アメリカ	215.5	307.8	314.5	325.8	333.6	23.0	0.9	0.3	215.7	1,550
	アフリカ	30.4	31.5	32.2	36.4	38.4	2.6	7.7	1.6	67.1	570
中東	52.2	58.0	58.8	68.4	73.0	5.0	14.6	4.2	60.5	1,210	

(注) 2018年は暫定値

1人当たり国際観光収入は(公財)日本交通公社算出

資料: UNWTO「Tourism Highlights」「World Tourism Barometer」

(2) アウトバウンド(出発地側)の動向

出発地の国・地域別に世界の国際観光動向を概観する。国際観光客到着数の動きを出発地域別にみると、2018年は中東地域での伸びが目立つ。人数規模は約4千万人回と小さいが、2018年は前年比10.2%増となった(表II-1-33)。

国際観光支出(International Tourism Expenditure)の出発国・地域別ランキングをみると、2018年も前年に引き続き中国が最も高く、2,773億USドル(前年比5.2%増)となった。中国の国際観光支出は世界全体のおよそ2割を占めており、2位の米国と比べても2倍近くの開きがあることから、世界の国際観光収入への中国の貢献度は極めて高いといえる。

2018年の国際観光支出で前年比10%前後の高い伸びを示した国は、フランスとオーストラリア、そしてロシアであった。一方、2018年に伸び悩んだ国はドイツや韓国であり、韓国は2017年

に前年比16.3%増を記録したが2018年はその伸びが鈍化した。17位の日本は中国や韓国、香港に比べ順位は低いが、2018年の国際観光支出は前年比9.2%増となり、北東アジア地域内の他の国・地域に比べて高い伸びを示した(表II-1-34)。(川口 明子)

表II-1-33 世界の国際観光客到着数(出発地域別)

	出発地域別 国際観光客到着数 (百万人回)	シェア (%)		前年比 (%)			
		2000	2017	2018	2018	17/16	18/17
世界全体	680	1,329	1,401	100.0	7.0	5.4	
出発地域	ヨーロッパ	396.4	636.6	672.3	48.0	7.4	5.6
	アジア太平洋	113.8	337.6	358.7	25.6	7.4	6.2
	アメリカ	130.6	227.3	235.0	16.8	7.4	3.4
	アフリカ	14.9	42.5	45.5	3.2	7.3	7.1
	中東	12.8	36.8	40.6	2.9	1.5	10.2
	出発地不明	12.0	47.7	49.0	3.5	-	-

(注) 2018年は暫定値

資料: UNWTO「Tourism Highlights」

表II-1-32 国際観光収入ランキング(到着国・地域別)

2018年順位	到着国・地域	10億USドル 国際観光収入 (到着国・地域別)				シェア (%)	国際観光客到着数 (百万人回)	1人当たり 国際観光収入 (USドル/人回)
		2010	2016	2017	2018			
1位	米国	137.0	206.9	210.7	214.5	14.8	79.6	2,690
2位	スペイン	54.6	60.5	68.1	73.8	5.1	82.8	890
3位	フランス	57.1	54.5	60.7	67.4	4.6	89.4	750
4位	タイ	20.1	48.8	56.9	63.0	4.3	38.3	1,650
5位	英国	34.0	47.9	49.0	51.9	3.6	36.3	1,430
6位	イタリア	38.8	40.2	44.2	49.3	3.4	62.1	790
7位	オーストラリア	32.6	37.0	41.7	45.0	3.1	9.2	4,870
8位	ドイツ	34.7	37.5	39.8	43.0	3.0	38.9	1,110
9位	日本	13.2	30.7	34.1	41.1	2.8	31.2	1,320
10位	中国	45.8	44.4	38.6	40.4	2.8	62.9	640
(11位以下の主な北東アジアの国・地域)								
12位	香港	22.2	32.8	33.3	36.7	2.5	29.3	1,250
25位	韓国	10.3	17.3	13.4	15.3	1.1	15.3	1,000
29位	台湾	8.7	13.4	12.3	13.7	0.9	11.1	1,240

(注) 2018年は暫定値

シェアおよび1人当たり国際観光収入は(公財)日本交通公社算出

資料: UNWTO「Tourism Highlights」

表II-1-34 国際観光支出ランキング(出発国・地域別)

順位	出発国・地域	10億USドル 国際観光支出			シェア (%)	前年比 (現地通貨基準)	
		2010	2017	2018		2018	17/16
1位	中国	54.9	257.9	277.3	19.2	4.7	5.2
2位	米国	86.6	135.0	144.2	10.0	9.3	6.8
3位	ドイツ	78.1	89.1	94.2	6.5	9.4	1.2
4位	英国	62.8	70.7	75.8	5.2	1.4	3.4
5位	フランス	38.5	41.4	47.9	3.3	0.8	10.5
6位	オーストラリア	26.6	34.4	36.8	2.5	8.3	9.7
7位	ロシア	26.7	31.1	34.5	2.4	29.7	11.2
8位	カナダ	29.7	31.8	33.3	2.3	7.8	4.3
9位	韓国	18.8	31.7	32.0	2.2	16.3	0.9
10位	イタリア	27.1	27.7	30.1	2.1	8.9	3.8
(11位以下の主な北東アジアの国・地域)							
11位	香港	17.4	25.4	26.5	1.8	5.6	5.0
17位	日本	27.9	18.2	20.2	1.4	1.4	9.2
18位	台湾	9.4	18.0	19.4	1.3	8.7	7.8

(注) 2018年は暫定値

シェアは(公財)日本交通公社算出

資料: UNWTO「World Tourism Barometer」